



学びの質を高める

# 長野県総合教育センター通信

## し の の め

2019/05/23  
(令和元年05月号)  
第121号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

### 目次

研修講座お申込みありがとうございました	1
総合教育センター重点と事業の概要	2
探究する单元をつくろう①(理科)	3
初任者研修が始まりました (義初研「初任研スタート研修」・高初研「教科指導基礎研修Ⅰ」)	4

## 研修講座お申込みありがとうございました

本年度も多数のお申し込みありがとうございました。

受講の決定は、

**5月23日(木)付けの**

**「学校別受講決定通知書」**を複数の先生でご確認ください。

追加募集する研修講座は、「学校別受講決定通知書」とともに学校にお知らせするほか、当センターのホームページにも掲載します。



### 研修講座の基本の日程

受付	9:10～ 9:35
研修	9:40～12:00
昼食	12:00～13:00
研修	13:00～16:10

講座内容は、研修講座案内をご覧ください。  
受講者の学校宛に追加連絡をする場合があります。

- ◆研修講座を欠席または遅刻する場合は必ず所属長を通じて、連絡してください。
- ◆緊急連絡の場合も同様です。手続きは研修講座案内のP.5をご覧ください。
- ◆連絡先は次のとおりです。  
指定研修 0263-53-8804(教職教育部)  
希望研修 0263-53-8802(企画調査部)

# 平成31年度 総合教育センター重点と事業の概要



学びの質を高める

## Quality of Learning 「学びの質」を高める

### 研 修

「主体的・対話的で深い学び」の視点で研修講座の質を高める

- ◆子どもの深い学びにつなぐ、教員のキャリアステージに応じた指定研修
  - ・長野県教員育成指標に基づき、自らの資質・能力の向上につなぐ研修
  - ・教員相互の協働性を高め、考えを広げ深める研修
- ◆児童生徒の資質・能力の育成に向け、教師力・授業力の向上を図る希望研修
  - ・学校力の向上を目指す研修講座群の充実
  - 視学官、教科調査官、学力調査官から注目動向や最新情報を知る講座
  - ◎郷土、信州から学び、継承する「信州体験」講座
  - ◎ICT 現代的な諸課題への対応につなぐICT活用講座
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業等のあり方を学ぶ教科等教育研修
  - ・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への実践力向上を目指した生徒指導研修
  - ・一人一人がもてる力を発揮できるインクルーシブな教育を目指した特別支援教育研修
  - ・ICTを活用した教育手法を学び、授業力の向上を目指した情報教育研修
  - ・産業社会の進展に対応した知識・技術を学び、実践的な教育を目指した産業教育研修
- 受講された先生のOUTPUTをサポートし、講座での学びを活用へつなぐ教職員研修会支援
  - ・講座受講者が講師となる研修会の準備・運営を専門主事が支援する、教職員研修会サポート

### 生 徒 実 習

実習を通して、学習効果と学びの質を高める

- ◆学校での実習が困難な応用的・先進的な教材や、ICT・産業用機器を用いた学習の場の提供

### 研 究 調 査

喫緊の課題・時代を先取りする研究

- ◆教育課題の研究調査
- ◆県内外の教育機関との連携強化
  - ・県内外教員養成系大学(学部・大学院)との連携
  - ・県内外教育機関等との連携

### 教育情報の提供

学校で使える教育情報を提供

- ◆ホームページや電子メールで情報発信
  - ・「学びの広場」… 児童・生徒の学習に役立つ様々な問題や学力向上に関わる情報を掲載
  - ・研修会サポートコンテンツ… 校内研修や各種研修会で使える資料を掲載
  - ・センター通信「しのめ」… 最新情報や校内研修で使える資料を配信

### 教 育 相 談

学校と連携した教育相談を推進

- ◆子どもの健やかな成長と発達を願う教育相談 … 児童生徒、保護者、教職員の相談に対応
- ◆学校の課題や授業づくりについての教育相談 … 教職員の相談に対応

# 探究する単元をつくろう①

～手書きでザックリと探究的な単元を構想しよう～

単元を構想する際には、「学習内容や学習活動の配列」へ意識が偏りがちになります。また、パソコンが普及したことで、手書きで構想することが遠のいています。「デザイン」の背景には「ラフ・スケッチ」があるものです。「子どもの何をどうしたいのか」という授業づくりへの問いを、「概念図」を描きながら探究していきましょう。

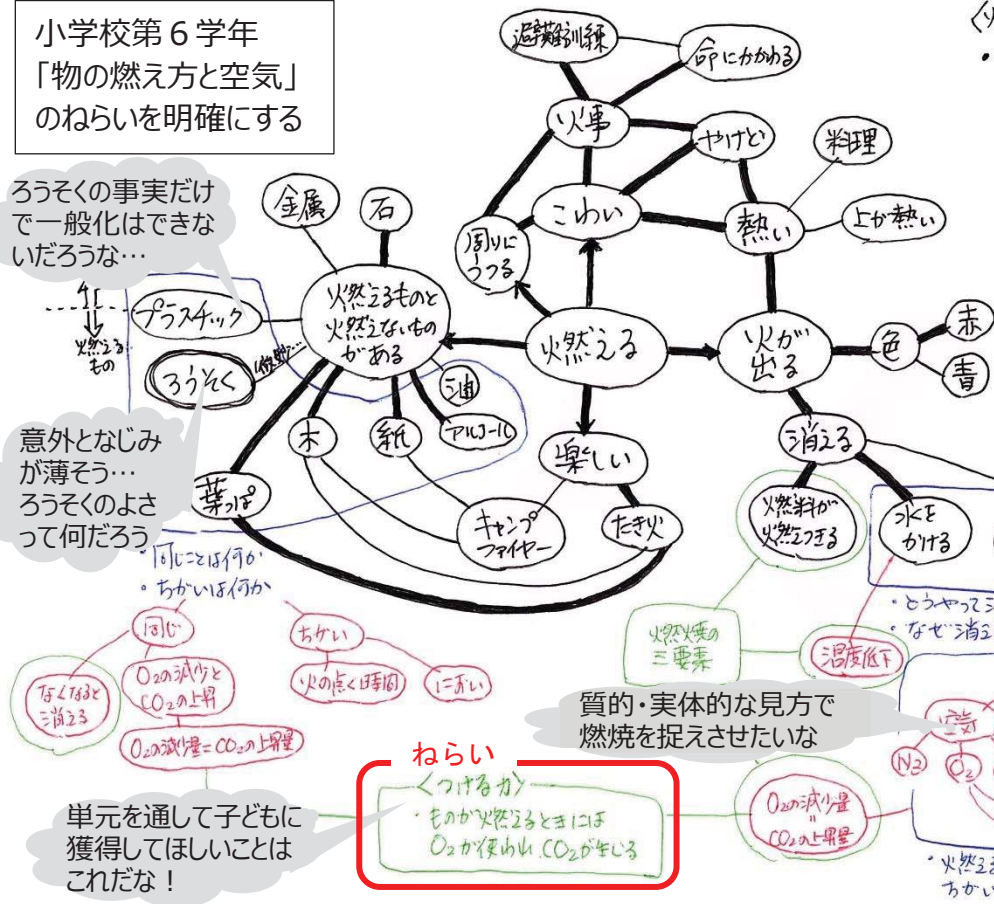
小学校第6学年  
「物の燃え方と空気」  
のねらいを明確にする

〈火然焼の中心材〉

- ・ろうそく -- 火が安定 → 消え方が問題になる
- 密閉器内での観察が容易 → 様々に条件を変えて実験が可能
- 見ておきたい。
- 火然焼の三要素への気づきを期待できる。

仏壇での経験はあるかな... 子どもたちは驚くだろうな

この子たちは酸素をどういふものだと捉えているのかな... 子どもが自分の考えに基づいて探究する場面はここだ!



単元を通して子どもに獲得してほしいことはこれだな!

質的・実体的な見方で燃焼を捉えさせたいな

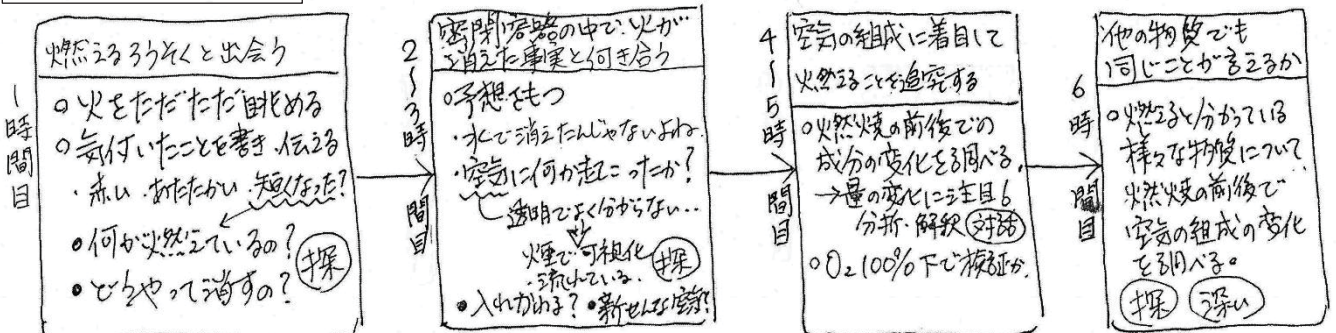
ねらい

- 〈つけるか〉
- ・ものが燃えるときにO<sub>2</sub>が消費し、CO<sub>2</sub>が生じる

子どもたちの概念の結び付きの強弱を線の太さで表現したり、授業を通して獲得してほしい概念の色を変えたりして概念図を描いていくと、授業を通してさらに広げていきたい所や、新たな事象の提示や発問によって子どもたちを揺さぶることができそうな所、いわば「探究の入口」や、単元を通してつける力が見えてきます。

次の段階として、概念図を眺めながら、子どもの学びの文脈に思いを巡らせ、ザックリと単元展開案を描いていきましょう。

## 単元展開案のメモ



このように、単元を大きくザックリと構想することで、単元の骨格を構築できました。骨格ができたら、時間数を加味しながら、より具体的な展開案を構想していくとよいでしょう。大きく捉えてから少しずつ具体化していくことが大切です。



## 義初研 「初任研スタート研修」

平成 31 年 4 月 16 日 (火) 実施

345 名が一堂に会し、初任研がスタートしました。教育公務員に求められる資質及び使命、学級づくり・授業づくりの基礎・基本などについて研修しました。

### 【内容】

- 1 挨拶 長野県総合教育センター 飯島 由美 所長
- 2 講話 「長野県の教師として期待すること」 原山 隆一 教育長
- 3 講義 「教員としてのあり方」  
(株) コミュニケーションズ・アイ 伊藤かおる 代表取締役
- 4 講義 「コンプライアンスとサービスの基本」  
義務教育課 三ツ井 邦仁 主幹指導主事
- 5 講義 「研修体系と初任者研修」 教職教育部 宮下 正史 専門主事
- 6 講義 「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅰ」  
学びの改革支援課 義務教育指導係 曾根原 好彦 係長
- 7 分散会 「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅱ」



「人生 100 年時代を迎える中で、一生の宝物となる力を育まなくてはならず、その本質的な力とは、教科を超えて通用する汎用性のあるものである」 原山 隆一 教育長

### 《受講者のふり返しから》

- 成長的マインドセットを子どもと教師、互いに持ち続けることが成長につながることを感じた。そのためにもまず子どもとの信頼関係、子どもを知ることが第一に優先させて生活していきたいと思う。
- 社会が激しく変化する時代の中で、「Who are you?」の問いに向かう力がとても重要だと感じた。教師自身も自分はどうか、どうい存在でありたいかを意識し、子どもたちにも問うようにしていきたいと思った。
- 「できない」と思い込み「やらない」という選択をしてしまう生徒に、どんな刺激（新しいカオス）を与えるか。復活した輝く瞳を想像しながら、明日からの授業構想をしたいです。

## 高初研 「教科指導基礎研修Ⅰ」

平成 31 年 4 月 23 日 (火) 実施

午前の講義では、一枚ポートフォリオ評価法の豊富な活用事例を通して、「確かな学力」を育成するための具体的方法について考えました。午後は、教科指導の基礎・基本を学ぶとともに、直面している課題について教科別にグループで話し合い、全体で共有しました。

### 【内容】

- 1 講義 「授業と評価の一体化  
～一枚ポートフォリオ評価法を事例にして～」  
山梨大学 堀 哲夫 名誉教授
- 2 講義・演習 「授業づくりの基礎・基本」
- 3 研究協議 「授業改善に向けた課題解決のための手立てを考える」
- 4 全体会 「各分科会の研究協議のまとめについて報告」



教科別の研究協議の様子

### 《受講者のふり返しから》

- 「生徒も教師も自分のレベルのワンランク上に行くためには負荷がかからないといけない」「人頼みでは良い問いは作れるようにならない」など、今の自分を反省させられる言葉をいただきました。
- SWOTという分析手法を用いて、学校の分析を行ってみたところ、今後、わたしたちが取り組むべき課題が明確になった部分がある一方で、まだまだ学校を見る目が養われてないという課題も浮き彫りになった。
- 教師自身が学びの形態を常に変容させていく必要があるということを再認識することができました。まず、生徒をよく知って、今日の授業のあり方を必ず振り返り、内省して、様々な手立てを活用していきたいです。